



たんぽぽ組だより



令和4年12月20日 ときわ保育園 担当:菅野

朝晩の寒さが増し、冬らしくなってきましたが、子ども達は寒さに負けず元気に過ごしています。

先日はお忙しい中、おゆうぎ発表会にご出席いただき、ありがとうございました。練習では、曲にノリノリではつらつと踊る子や舞台を踏み鳴らして勇ましく踊る子、保育者をよく見て細かい動きも丁寧に真似する子など、同じ踊りでも多様な表現の仕方をして楽しんでくれました。本番では雰囲気圧倒されている子もいましたが、子ども達にとっては成長につながる良い経験になったと思います。



さて、今月はクリスマスの製作を通してクラスで初めてハサミを使いました。最初は上手く切れないものの、ねじったり、押したり、紙に対して角度を変えてみたりと試行錯誤して、すば、と切れると「わあ!」「楽しい!」と言って夢中で取り組んでいました。また、ハサミ以外にも気泡緩衝材(プチプチ)やのり、クレヨン、折り紙、絵の具など様々なモノを使いましたが、その度に子ども達はモノとじっくり対話し、それに潜在する可能性を真剣に探している様子が見られました。これからも、道具や素材に豊かに関わる機会をたくさん作っていきたいと思います。